

3年SG、英語でプレゼン「Speak Out to the World」開催

3年SGコースは「発信力」の育成を目標としており、平成28年7月13日（水）、オピニオン発信セミナー「Speak Out to the World」を、本校多目的教室で開催しました。

2年次までにグループでまとめた課題研究の内容を、外国人に対して、英語でわかりやすく発表する、SGコースの総まとめになる企画です。

審査員は、山口県立大学に短期留学中の韓国人15名、中国人10名と宇部高専に短期留学中の台湾人3名、オーストラリア人2名にお願いしました。

ラウンド1は、教室内4か所に分かれ、各2グループで対戦し、内容、見せ方、チームワークの観点で採点し、勝敗を決め、ラウンド2では、2会場に分かれ、ラウンド1で勝利した4グループと敗退した4グループそれぞれで再び対戦しました。

そして、ファイナルプレゼンテーションでは、勝利グループの中から優秀2グループ（Fair Tradeと外国人観光客誘致）と、敗退グループの中から1グループ（異文化交流）が、参加者全員の前で発表し、最優秀には「OIDEMASE YAMAGUCHI」が選ばれました。

この大会に向けて、生徒たちは、「課研表現」の授業を通して、英語でのプレゼンの技法を学ぶとともに、放課後等を利用してパワーポイントのスライドを作成し、各グループで練習を重ねました。本番でも回を重ねるごとにメキメキと上達し、アイコンタクト等を心がけながら、英語でのプレゼンテーションに自信をつけてきました。

今後は、「課研表現」の授業を通して、英語の論文に挑戦していく予定です。



留学先でのプレゼンをする生徒たち（宇部高）

課題研究を英語でプレゼン

審査員は留学生

宇部高専（本報）校長は13日、オピニオン発信セミナー「Speak Out to the World」が開かれた。スーパードラゴン（SG）コース1期生に当たる3年生が、外国人留学生に向け、英語で研究内容を発表。客観的な評価を受けた。

閉会式では本校長、留学生が自身チームが英語で発表の言葉、生ワーク、表現力などを採点し、素晴らしい時間を共有し、理解し合いた。鬼村校長は「地域の発展に貢献する人材を育てたい」と呼び掛けた。

審査員を務めたのは、韓国人15名、中国人10名、台湾人3名、オーストラリア人2名、短期留学中の韓国人15名、中国人10名、台湾人3名、オーストラリア人2名。

生徒たちは、2年次にまとめた課題研究の内容を、英語で発表し、その内容を明確に伝えるよう指導された。練習した内容を、改めて発表し、手応えを感じた。

（松原）